

トキふれあいプラザ OPEN

3月30日、トキを間近で見られる施設「トキふれあいプラザ」がオープンしました。当日は、島内外から観光客など約1450名が来館し、間近まで迫ってくるトキに、子供たちはガラスに張り付いて、見入っている様子でした。「こんなに近くでトキを見るのは初めてで、とても感動したと話しかけてくれるお客さんが多く、喜んでいるお客様の笑顔を見ると、私たちも嬉しい気持ちになります」と、ガイドさんは楽しそうに話していました。また、開催にあたって、タレントの里田まいさんが来島し鬼太鼓や、佐渡おけさ、kids生きもの調査隊による1年間の活動発表に熱心に耳を傾けていました。



↑トキの安全性確保のため、来場者の影などが見えないよう、網で囲っています

↑kids生きもの調査隊のメンバーと里田まいさん



生産者大会開催

3月23日に、佐渡米生産者大会が佐渡市文化交流会館で行なわれました。当日は約350名の生産者が集まり、25年産米についての栽培方針を確認し、農家代表からは決意表明が行なわれました。

決意表明では、気象変動や病害虫に負けない米づくりには、まず土作りと適切な施肥などの点を改善すべきとして、佐渡ブランドの確率を目指すために、生産者が一丸となって安定した食味と供給に取り組もうと、決意を新たにしていました。

kids生きもの調査隊卒隊式

今年 kids 生きもの調査隊を卒業する6年生の卒隊式が27日、佐渡市新穂湯上のトキ交流会館で行なわれました。当日は3〜6年生の小学生ら27名が参加し、レクリエーションや生きもの調査も合わせて行なわれました。卒隊証書授与後、6年生からは「調査隊で経験したことを活かして、中学校に行ってもがんばりたい」と、話し、また「僕たちが卒業しても、皆さんにはまだやるべきことが残っているので、積極的に参加してがんばってください。」と下級生にエールを送っていました。

その日行なわれた授業は、顕微鏡を使った生き物のスケッチで、授業の後半には、実際に会館前のビオトープで好きな生き物を一匹捕まえて、顕微鏡をのぞき、スケッチしていました。子供たちからは、「こんなに小さいのに顕微鏡で覗いてみるとちゃんと生きていてすごい」と驚きの声が上がっていました。



編集人：佐渡農業協同組合
営農事業部米穀販売課 渡部・古城(ふるき)
beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp

発効日：平成25年4月